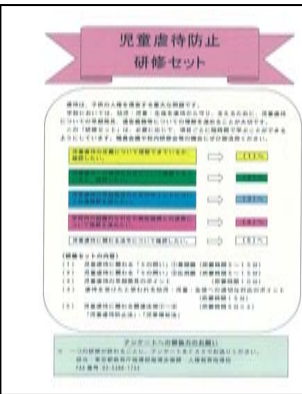


児童虐待防止研修セットについて

1 これまでの主な対応と取組 ◆…都教委の対応	
平成 22 年 1 月	<ul style="list-style-type: none"> 江戸川区立松本小学校の第 1 学年児童が虐待を受け死亡 (1 月 24 日) ◆ 平成 22 年 1 月 26 日付 21 教指企第 1074 号「児童虐待への対応について」(通知)
平成 22 年 5 月	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成 22 年 5 月 11 日付 22 教指企第 140 号「児童虐待の早期発見と適切な対応のためのチェックリスト」の活用について (通知)
平成 22 年 8 月	<ul style="list-style-type: none"> 都立高等学校の第 1 学年の生徒が虐待を疑われながら、管理職自らが児童相談所等へ通告しなかった件が、新聞等で報道 (8 月 8 日) ◆ 平成 22 年 8 月 9 日付 22 教指企第 536 号「児童虐待への対応の徹底について」(通知)
平成 22 年 9 月	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「児童虐待に関わる校内研修の実施状況に関する調査について」(依頼) ⇒ 都内の全ての幼稚園・学校等が、研修を実施していることを確認
平成 23 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 平成 23 年 3 月発行の「人権教育プログラム」に、平成 22 年 5 月に作成した新たなチェックリストを掲載
平成 23 年 7 月	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 区市町村教育委員会等の指導主事に対して研修セットについて事前に周知 (7 月 1 日) 厚生労働省が、平成 22 年度中に全国の児童相談所が対応した児童虐待の件数を発表 (7 月 20 日) 全 国：過去最高 55,152 件 (平成 21 年度：44,211 件) 東京都：4,450 件 (平成 21 年度：3,339 件) ◆ 区市教育委員会の指導室課長に対して研修セットを直接配布し、活用の意義や方法等について説明 (7 月 21 日)

2 趣旨・内容等	
<p>【基本的な考え方】 児童虐待は、人権課題「子供」に関わる重大な人権侵害である。どの学級、どの学校の子供にも起こり得るものであることから、全ての学校が、研修に取り組み適切な対応をすることが大切である。</p>	
<p>＜趣旨＞</p> <p>(1) 全ての教職員が、児童虐待防止に関わる正しい理解と認識を深めることが重要</p> <p>(2) 幼稚園や学校が、その状況に応じた研修を行い、一定水準以上の成果を上げることが必要</p> <p>(3) 児童虐待に関わる社会情勢等を踏まえ、研修等の質的な充実を図り、教職員の資質・能力をこれまで以上に向上させることが必要</p>	<p>＜内容＞ 項目ごとに、短時間で学ぶことができるよう工夫した。</p> <p>(1) 児童虐待に関わる「5の問い」①基礎編 (児童虐待の定義)</p> <p>(2) 児童虐待に関わる「5の問い」②応用編 (児童虐待への適切な対応)</p> <p>(3) 児童虐待の早期発見のポイント (早期発見のポイント)</p> <p>(4) 虐待を受けたと思われる幼児・児童・生徒への適切な対応のポイント (学校内の組織的な対応や関係機関との連携)</p> <p>(5) 児童虐待に関わる関連法規①～④ (「児童虐待防止法」「児童福祉法」)</p>

3 内容の特色と活用方法例										
<p>【特色】 各学校が、その状況に応じて研修の内容や時間等を選択することができる。</p>										
<p>＜活用の手順＞</p> <ol style="list-style-type: none"> 研修セットの内容を概観し、学校の課題に応じた項目を選ぶ。 研修の時間等を設定する。(最短 5 分間でも研修を行うことが可能) 配布資料や解説資料の内容を確認し、必要に応じて増刷りする。 演習・協議や研修の振り返りを行う。 										
<p>＜活用例＞</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校の状況</th> <th>研修セットを活用すると…</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 経験の浅い教員が多いことから、児童虐待防止の基本について確認したい。</td> <td>⇒ 項目の(1)と(5)①を活用すれば、児童虐待の定義等を理解することができる。</td> </tr> <tr> <td>② 他の研修との兼ね合いもあり短時間で確実に成果を上げられる研修の機会を設定したい。</td> <td>⇒ 項目の(1)は職員会議の 15 分間、(5)①は朝会での 5 分間があれば、研修を行うことができる。</td> </tr> <tr> <td>③ 資料等の準備を効率的に行いたい。</td> <td>⇒ 項目の(1)の演習資料、(5)①のワークシートと解説資料を人数分印刷すれば研修を行うことができる。</td> </tr> <tr> <td>④ 人材育成の視点から人権教育を担当する主任教諭を指導者に指名したい。</td> <td>⇒ 項目の(1)演習解説の資料を活用すれば、担当者が、演習のポイント等について説明ができる。</td> </tr> </tbody> </table>	学校の状況	研修セットを活用すると…	① 経験の浅い教員が多いことから、児童虐待防止の基本について確認したい。	⇒ 項目の(1)と(5)①を活用すれば、児童虐待の定義等を理解することができる。	② 他の研修との兼ね合いもあり短時間で確実に成果を上げられる研修の機会を設定したい。	⇒ 項目の(1)は職員会議の 15 分間、(5)①は朝会での 5 分間があれば、研修を行うことができる。	③ 資料等の準備を効率的に行いたい。	⇒ 項目の(1)の演習資料、(5)①のワークシートと解説資料を人数分印刷すれば研修を行うことができる。	④ 人材育成の視点から人権教育を担当する主任教諭を指導者に指名したい。	⇒ 項目の(1)演習解説の資料を活用すれば、担当者が、演習のポイント等について説明ができる。
学校の状況	研修セットを活用すると…									
① 経験の浅い教員が多いことから、児童虐待防止の基本について確認したい。	⇒ 項目の(1)と(5)①を活用すれば、児童虐待の定義等を理解することができる。									
② 他の研修との兼ね合いもあり短時間で確実に成果を上げられる研修の機会を設定したい。	⇒ 項目の(1)は職員会議の 15 分間、(5)①は朝会での 5 分間があれば、研修を行うことができる。									
③ 資料等の準備を効率的に行いたい。	⇒ 項目の(1)の演習資料、(5)①のワークシートと解説資料を人数分印刷すれば研修を行うことができる。									
④ 人材育成の視点から人権教育を担当する主任教諭を指導者に指名したい。	⇒ 項目の(1)演習解説の資料を活用すれば、担当者が、演習のポイント等について説明ができる。									

4 今後の取組
<p>【研修セットの活用に向けた指導・助言】</p> <p>＜人権教育指導推進委員会（9 月）＞ 区市町村教育委員会の指導主事等に対して、研修セットの活用・促進に向けた学校への指導の在り方について説明を行う。</p> <p>＜人権教育研究協議会（10 月）＞ 参加者の主幹教諭・主任教諭・教諭等に対して、研修セットの活用のポイントについて周知する。</p> <p>＜学校や教育委員会等を訪問（随時）＞ 人権教育指導班の指導主事が、学校や教育委員会を訪問する際に、研修セットの活用方法について具体的な事例を紹介し、活用の促進を図る。</p> <p>【研修セットの改善と充実】 添付した「児童虐待防止研修セット活用アンケート」を用いて、各学校等からの意見等を集約し、本研修セットの改善と充実を図る。</p>